

# IKIFURE NEWS

Vol.56 2021年秋号

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター  
〒359-1133 所沢市荒幡 782 04-2939-9412 <http://www.ikifure.info>



## かがやく秋

〜錦秋からモノトーンの冬へ〜



右/菩提樹田んぼ 左上/ヒヨドリジョウゴ 中央/ミドリヒョウモン 左下/カケス 右下/オンパッター

目を引く色とりどりの木の実や草の実、木々の葉も色づきそれぞれに輝くような秋。稲の収穫は今では早いところでは8月にされますが、黄色に輝く稲穂が風に揺れるさまはまさに日本の秋。五行で秋は金にあたることから秋に吹く風を『金風』と呼びますが、収穫前の田を渡る風は金風にぴたりです。秋の終わりに降る時雨は秋時雨。晴れていたかと思えば突然降り出しまたやむ雨。雨粒の小さい霧雨のこともよくあります。さらに冷え冷えとした冷雨(れいう)が降り季節の移ろいを告げます。一雨ごとに紅葉は進み、やがて木の葉を散らす冷たい北寄りの風、木枯らしが吹くと冬の色はいつそう濃くなつてきます。コナラの黄葉はまだ楽しめますが、澄んだ青空が木々の間からよく見えるようになり冬越しのためにやってきた野鳥も見やすくなります。

旅に病んで

夢は枯野を駆け廻る

10月12日はこの句を詠んだのが最後となった松尾芭蕉の忌日『時雨忌』です。今の暦では枯野の広がるころ。枯野にも立ち枯れの草の種子を求めてカワラヒワやアオジなどの野鳥がやってきます。

今年9月21日が十五夜で10月18日は十三夜。11月14日は十日夜、年内最後の満月は12月19日で今年最少の満月。秋から冬の澄んだ空は昼も夜も見上げたくなる美しさです。12月22日は冬至。本格的な冬が始まるとともに『一陽来復』、太陽は力強さを取り戻していきます。さあ冬を楽しみましょうか。



キチジョウソウ  
画 堅香子の会

おすすめの  
取組み

いきものふれいの里植物画  
原画展を  
開催します。

9月中旬～11月末まで約20点の植物画展。  
是非いらして下さい。



ナラ枯れの対策について

ナラ枯れを防止するために、クリアファイルトラップやシート巻き付け、薬品注入などを行っております。雑木林の喪失は大きな問題です。費用対効果もふくめ、今後の大きな課題となっています。

狭山丘陵

出前講座を  
ご利用下さい。



狭山丘陵の動物や植物のことを多くの方に  
知って頂きたいと思い企画しております。